

## 公 開 文 書

研究課題名 (研究番号 709)	新生児から乳児における挿管困難症例の検討
当院の研究 責任者(所属)	野中 崇広 (麻酔科)
他の研究機関およ び各施設の研究責 任者	なし
本研究の目的	手術室で全身麻酔を行う場合、人工呼吸が必要となります。その際、人工呼吸のための管を口から気管まで通す、気管挿管という処置を行います。中にはこの挿管操作が難しい患者さんがいらっしゃいます。お子さんの症例でも同様で、小児全体での挿管困難症例は1%以下と言われますが、重症度が高い症例や乳児では6%前後に上ると言われています。一度新生児や乳児で挿管困難に直面すると酸素化低下や心停止といった重篤な合併症を引き起こし得ます。今回新生児から乳児の患者さんで、手術室で気管挿管した方において実際挿管困難であった症例を振り返り、今後の気道確保や麻酔導入の準備、方法、および合併症予防に役立つ知見を得るのが目的です。
調査データ 該当期間	2019年10月～2025年3月の期間内に手術室で気管挿管をして全身麻酔管理をした1歳未満の患者さんを対象とします。
研究の方法	診療録および麻酔記録より対象となる患者さんの情報を得ます。
個人情報の 取扱い	利用する情報に氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は含みません。研究成果を論文投稿にて発表する場合にも、個人を特定できる情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連する開示すべき利益相反はありません
お問い合わせ先	麻酔科 野中崇広 電話：096-365-1711
備 考	なし